



11 17

日時 2007年 11月 17日(土)

14:00~16:30(13:30 開場)

会場 新潟市西新潟市民会館
多目的ホール

参加費 500円

※介助者と一緒に来られる場合、お1人分の参加費でご本人と介助者が入場できます。

※ただし、介助者の方も講演会・シンポジウムを聴きたい場合は、参加費をお支払い下さい。

14:00 野沢和弘さん講演会

15:30 鼎談(ていだん)

野沢和弘さん

河田珪子さん

青木学さん(コーディネーター)

16:30 終了



情報保障として
手話通訳
要約筆記
あります(予定)



青木 学さん 新潟市議会議員

1966年5月20日生まれ。小学校6年生の時、失明。新潟盲学校中学部、高等部を経て、京都外国語大学英米語学科卒業後、米国セントラルワシントン大学大学院に留学。1993年卒業後、通訳や家庭教師を務めながら市民活動に参加。1995年「バリアフリー社会の実現」を掲げ、市議選に立候補し初当選を果たし、障がい者の立場から、様々な差別や偏見などによってその人の道が閉ざされることのない社会、「バリアフリー」社会の実現に向け全力を尽くされています。

障がいのある人もない人も

暮らしやすい新潟に

野沢和弘さん講演会



野沢 和弘さん

毎日新聞 夕刊編集部長

1959年10月、静岡県熱海市に生まれる。

1983年3月、早稲田大学法学部卒業。

新聞記者として、若者の引きこもり、いじめ、薬害エイズ、障害者虐待、児童虐待などの現場を取材し報道し続けてこられました。そして、全日本手をつなぐ育成会の権利擁護委員長として、障害者の人権を守る活動で大きな役割を果たしてこられました。

全日本手をつなぐ育成会理事・「手をつなぐ」編集長・千葉県障害者差別をなくす研究会座長

同時代に生きる人々が、それぞれの違いを認めあい、多様性を楽しむのが、これからの成熟した社会のあり方だと私は思う。



河田 珪子さん

誰もが集える居場所「うちの実家」代表

昭和19年新潟県新発田市生まれ。平成2年、民間助け合い活動「新潟まごころヘルプ」を立ち上げ、平成9年には、地域の交流の場として「地域の茶の間」を開始。さらに宿泊も可能となった地域の茶の間の「うちの実家」を平成15年に設立し、一貫して地域社会に暮らす市民の立場から「知り合うことでお互いが助け合える」そんな社会作りを提唱し、活躍されています。

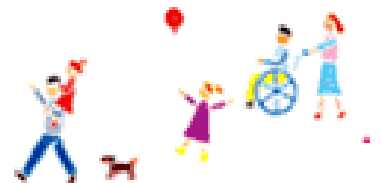
***会場には公共交通機関をご利用のうえ、ご来場ください。(会場・交通案内は裏面です)**

主催：にいがた自立生活研究会

共催：NPO 法人自立生活センター新潟

協力：NPO 法人アクセシブルにいがた、新潟大学・人間支援科学教育研究センター、人と人を結ぶ結屋、新潟県地域生活支援ネットワーク

後援：新潟市、社団法人新潟県社会福祉士会、社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会、社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会



＝障がいのある人もない人も暮らしやすい新潟に＝

障がい福祉の分野では、差別禁止に関わる法制が注目されていることをご存知ですか？

一つは、国際的な動きで、国連障害者の権利条約(2006年12月13日、採択)。

もう一つは、千葉県の「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」(2006年10月11日、成立)。

今回は、千葉県条例の策定過程に深く関わった、野沢和弘さんをお招きし、その策定過程についてのお話をいただきます。

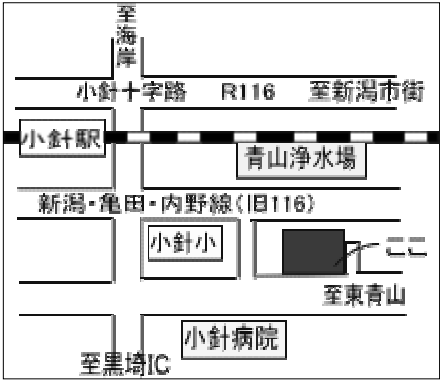
○策定のプロセスで、どのような意見・異論があったのか。

○障がい当事者の参加は、どのように実現されたのか。

○条例策定によって何が生み出されたのか。

そして、野沢さんをお迎え、河田桂子さん、青木学さんと、「障がいのある人もない人も暮らしやすい新潟に」をめぐる、鼎談(ていだん)をしていただきます。

暮らしやすい新潟にするためには、何ができるのか、何を必要があるか、考えましょう。



会場：新潟市西新潟市民会館（新潟市西区小針2丁目24-1）
 ＊会場には公共交通機関をご利用のうえ、ご来場ください。

バス 『小針二丁目』下車 徒歩2分
 JR新潟駅万代口（北口）より、「信濃町経由西部営業所」、
 「浜浦町経由西部営業所」、「大堀経由内野」、「大堀経由明田」、
 「大堀経由流通センター」行きのバス。

JR JR越後線 『小針駅』下車 徒歩15分

障がいのある人もない人も暮らしやすい新潟に ～野沢和弘さん講演会～ 参加申込書

にいがた自立生活研究会 宛

F A X: 025-232-7245

メール: sail_niigata@yahoo.co.jp

所属		ご担当者名	
住所	〒	電 話	
		F A X	
		メールアドレス	

No.	ふりがな 氏 名	性別	アクセシビリティに 関するご希望(必 要なところに○印)	備考
例	にいがた たろう 新潟 太郎	(男) ・ 女	手話通訳 要約筆記 ○車椅子スペース 保育 その他	介助者1名同伴します。
1		男 ・ 女	手話通訳 要約筆記 車椅子スペース 保育 その他	
2		男 ・ 女	手話通訳 要約筆記 車椅子スペース 保育 その他	
3		男 ・ 女	手話通訳 要約筆記 車椅子スペース 保育 その他	

※保育を受けるお子さんの氏名もお願いします。障がいがある場合には年齢、障がいについて簡単に備考欄にご記入ください。

※「その他」については備考欄にご記入ください。